

実装不良検査システム・RVシリーズ

鉛フリー実装基板の最終目視検査に最適
傾斜カメラと可動ステージによりハンダフィレットの詳細検査が可能

主な特徴

傾斜カメラによる斜め画像表示

最大45°まで傾斜するカメラ画像により、真上からは判別の難しいハンダフィレット部の不良（引け巣、クラック等）を目視検査できます。

実装基板の検査に有利な深い焦点深度

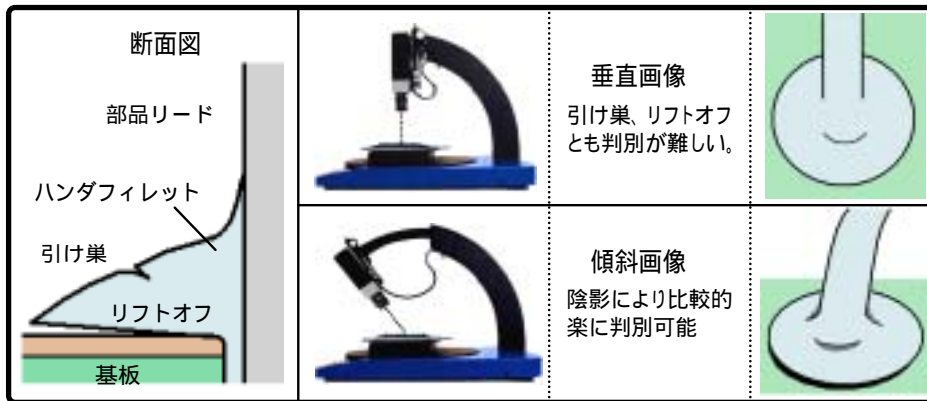
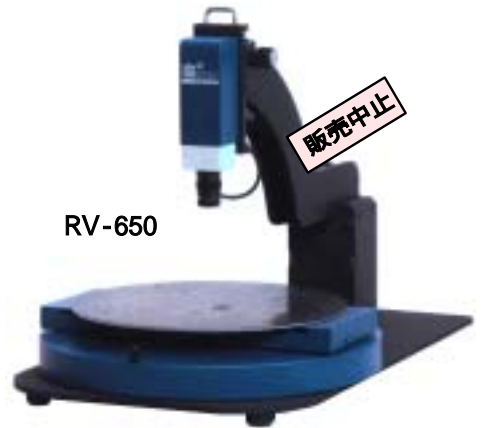
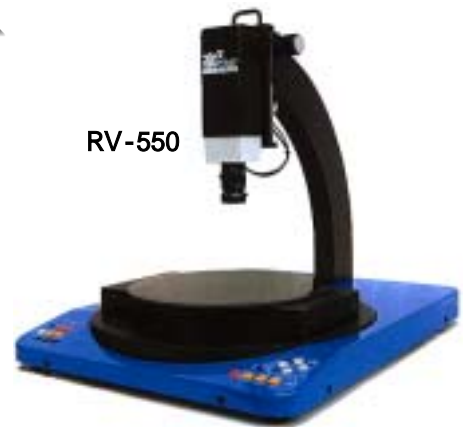
高さのある部品が実装されている基板でもカメラの焦点深度が深いので、クリアな画像を表示でき、作業者の目を疲労させることなく楽に検査できます。

リペア作業に適する大きなW・D

レンズからワークまでの距離（W・D）が大きいので、検査しながらハンダゴテ等によるリペア作業が楽にできます。

位置メモリー機能による効率的な検査（RV-250を除く）

簡易ティーチングにより検査ポイントを位置入力できるため、同種の基板を複数枚検査する際、不良が出やすい箇所を集中的に検査できるので検査効率が向上します。



項目	機種	RV-250	RV-550	RV-650	RV-660
検査テーブルのX・Y移動		販売中止	任意のポイント登録したポイントを検査ボタン操作自動		
X・Y移動距離(検査範囲)		(任意の移動範囲・角度ともに任意) (キャスター付フリーステージによる)	160 x 160mm	250 x 250mm	250 x 350mm
検査テーブルの回転			手動(360°)		手動(200°)
カメラ傾斜		手動(3段階: 45°まで15°刻み)		手動(0~45度までの任意の角度でロック)	
検査倍率	標準	約18~30倍(14インチモニター使用時)			
	オプション	5~50倍・ズーム(14インチモニター使用時)			
解像度		41万画素(1/3CCD)			
レーザーポインタ		標準装備			
検査位置入力機能	登録数	なし	999ポイント x 10チャンネル(トータル: 9,990ポイント)		
	データPC管理		×		
外形寸法(mm)		W390・D510・H490	W387・D530・H519	W434・D680・H545	

仕様

